柏市広報
昭和33年11月29日 発行 追悼特集オ1号
編集発行 柏市総務課
印刷所 浜田印刷所

靈魂は市の発展とともに生きている!!

あの日あの時の姿を偲ぶ

故鈴木市長は明治四十一年松ケ崎に生れ、現在の柏一小と佐倉中学（当時東葛に中学がなかつたので）に学び、近衛連隊に幹部候補生として入隊、大尉となり終戦を迎えた。この間、在郷軍人柏分会長、消防役員、東葛飾中学校（現在の東葛高）教師として活躍し、昭和二十四年八月柏町長となり二期つとめ、市制施行されるや市長となり、今年九月二十八日の市長選挙に再選されたが、病魔におかされ再選一ケ月にして急逝した。人間の肉体は流れ星のようにはかない。村から町となり、さらに町から市となつて急激な衛星都市的発展の過渡期に立ち、柏市並びに周辺開発の基盤と目標とを明らかにした鈴木市長は、今はいない。しかし、鈴木市長は永遠に生きている。柏市の街頭に、住宅地に、農村に、次々と建設される施設の上に、柏市の発展とともに生きているのである。以下故鈴木市長の功績をたどつて、故人を偲んでみたいと思います。

○…故市長は、温厚篤実まがつたことを嫌い、義に強い人で、実行力に富み、終始一貫して市勢の振興につくした。

昭和二十四年、歳若くして柏町長に就任以来、地方自治体の首長として誠心誠意住民の福利をはかり、教育の振興産業の発達に全力を注ぎ、道路の新設、改良、都市計画の推進など、柏市の発展に尽したその功績は数えきれない。其の間に、着実穏健の市風をふるいおこし郷土愛に燃える一大理想郷の基礎を固めたが、その労苦は、遂に自個の肉体をおかすこととなり、奮闘努力してきた全生涯を閉じてしまつた。

しかしながら、その遺志は世間をねむりからよびおこし必ずや人を薫化することでしよう。今ここに全市民あげて、故鈴木悦三市長の遺徳を讃美するところであります。

○…故鈴木市長は、平素身心共に頑健であり、市政執行にあたつては東奔西走し、他の追従をゆるさず、よく市勢の発展に全力を注いでいました。

日頃、出勤は何れの吏員より早く、帰庁も何れの吏員より遅く、文字通り郷土のために、全身に鞭うつていた姿は市民の賞讃と尊敬の的となつていた。九月の市長改選の際は、候補者として出馬はしたが、午前中は市長として役所に執務し、一切の事務を処理した後に選挙戦に臨み、いくらか過重と思われる労苦を、敢えて継続していた。

たまたま九月二十六日突如襲来した二十二号台風の際には、選挙戦をすておき、夜を徹して水害対策に奔走し団員はその指揮下によくその実績をあげた。思えば、これが死にいたらしめる遠因となつたのではないだろうか。当選後激しい病苦を覚え療養中のところ、十月十四日、市議会招集には病苦をおして出席し、超人的精神力をもつて施政方針を述べた。しかし、疲労はその極に達し、遂に病床に伏すにいたつたが、尚業務を指示し、市政に支障を生じないよう心配して、身心共に休まることがなかつた。病状を案ずる近親者、主治医の再三のすゝめによつて、ようやく二十一日夜、日大病院に入院したが、病状は思いのほか重く、最善の手当もむなしく遂に十月二十九日死去した。

思うに、言より実行、市民の奉仕者として、自ら吏員の範となり、日夜わかたぬ公務に没入したことは真に偉大であるが、かえつて自らの生涯を短くしたということは、六万市民心から悲しみとするところであります。

○…功　績

昭和二十四年十月、柏町長就任以来今日まで、故鈴木悦三氏の功績は数限りないが、そのおもなものを次にあげてみよう。

1 困難極まる合併をまとめあげ、市制施行して着々成果を挙げ、柏建設の基礎を固めた。
2 都市計画、道路整備を強力におしすすめた。
3 南柏駅の新設、柏駅西口開設、防火建築帯など、柏の都市的形態に多大の功績を示した。

A 産　業
1 商業金融　イ、千葉県保証協会委員として、柏の金融関係の発展に寄与した。ロ、市資金の予託制度を実施し、中小企業に融資の道をひらいた。
2 農　業　イ、農業技術向上のため、各種補助事業を行なつた。ロ、手賀沼周辺をはじめとして土地改良を推進した。ハ、新農村建設計画を着々実施している。ニ、利根改良区溢流堤問題を解決した。ホ、農業機械化促進のため、各種機械の購入を計っている。
3 工　業　イ、工場の誘致のため種々努力し、北陸加工の誘致に成功した。
4 官庁誘致　イ、柏警察署を誘致した。ロ、法務局出張所（登記所）設置に成功し、本年内に開所する。

B 交通、通信
1 鉄道の改善　イ、南柏駅を設置。ロ、柏駅西口を開設。ハ、常盤線輸送力増強のため、電車増発を計った。ニ、武蔵野線新設に努力している。
2 バス網の開始　イ、全市に循環バスを運行させた。ロ、近隣市町村へのバス網を開拓し、柏中心の態勢を整えた。
3 通信施設の改善　イ、市内自動電話に切換、数倍の加入者増をみた。ロ、有線放送事業を完成し、農村部の通信を円滑にした。ハ、郵便局舎、電報電話局舎の新設を推進努力した。

C 都市計画及び土木事業
1 六号国道（一級）の完成に努力した。
2 環状線（二級）の市内完成を推進中であり、全線の完通に努力中である。
3 都市計画事業　イ、南柏駅周辺の区画整理を断行した。ロ、柏西口の区画整理を本年度着手。ハ、市内主要都市計画道路完成。
4 産業道路を整備した。
5 舗装工事　市内主要市道の舗装工事完了。
6 下水工事着手

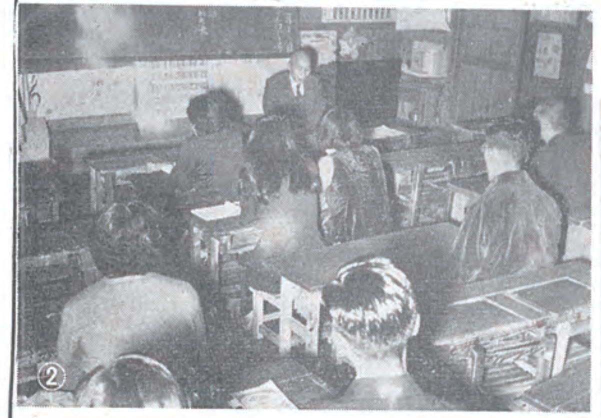
D 教　育
1 学校々舎整備。
イ、小学校新設　五校　増改築　五校
ロ、中学校新設　二校　増改築　三校
2 教育内容の充実　イ、理科学振興のため、各校に備品充実ロ、視聴覚施設の新設

E 厚生・衛生
イ、保育園新設　四校。ロ、育英資金、敬老年金、葬祭費給付制度を創設。ハ、市営住宅九十一戸（33年十戸を含む）建設　ニ、国民健康保険事業の充実をはかる。ホ、糞尿、ゴミ処理の機械化をはかる。

F その他
1 駅前商店街の完成　イ、防火帯建築　オ一期工事九棟一〇戸。オ二期工事　九棟二八戸。ロ、道路改修延長二六〇メートル。ハ、アーケード　工費八一五万円
2 光ケ丘、荒久山公団住宅の誘致　一、〇六八戸
3 その他集団住宅　イ、電々公社共済組合住宅　三五〇戸。ロ、非現業共済組合住宅　四〇〇戸。ハ、東急不動産分譲地　四〇〇戸
4 総合開発関係　イ、首都圏の市街地開発地域の指定内示を受け、強力に衛星都市化を推進している。ロ、近隣町村と提携し四市町村総合開発協議会を設置会長として各市町村の互助共栄策の調整を計っている ハ、手賀沼沿岸の開発を計り効果的利用を計画中
5 水道建設事業　イ、昭和二十九年より五ヶ年計画をもつて工事に着手し、計画二万五千人、計画給水量一日最大五〇立方米、オ一オ二水源の各種施設中。
6 合併当初五ヶ年計画の実施
本年をもつて計画事業の実施は百パーセントを超過

○…賞　罰
一、昭和三十二年七月、建設大臣の表彰を受ける
一、昭和三十二年十一月、自治庁長官の表彰を受ける
一、昭和三十三年十一月、自治功労者として千葉県知事の表彰を受ける
一、昭和三十三年十一月、産業教育振興の功労者として全国産業教育振興会長の表彰を受ける
一、昭和三十三年十月二十九日、勲六等、瑞宝章を受ける

（左写眞は昭和三十二年一月市長室にて）



【写真説明】①28年1月、成人式の際に　②同年9月成人学校の講師として市政を講義　③31年1月、成人式に青年たちを励ます　④同年11月、定期表彰式記念写真（〇印市長）⑤表彰式の際に　⑥同11月、市民運動会の紅白玉入れに一生懸命の市長（〇印）⑦⑧32年1月、予算編成公聴会の席で（〇印市長）⑨33年1月、消防出初式の際に　⑩32年10月、南極観測隊員清野氏の壮途に先立ち清野氏と堅い握手をかわす　⑪32年9月、水防演習の際に　⑫⑬同年11月、市民運動会の際。観戦中の市長と得意のビン釣りに興じている市長（〇印）⑭33年1月、電話自動改式の際、記念通話をする市長　⑮同年9月有線放送電話開通記念通話をする市長

追憶の涙のうちに柏市葬終る

故人最後の声(録音)に会葬者泣く

快晴に恵まれた四日、柏第一小学校の市葬会場は花輪でうづめられ、壮厳な雰囲気のなかに定刻一時、故鈴木市長の市葬はしめやかに幕をひらいた。

千葉市消防署音楽隊の音楽吹奏のなかに御遺骨をお迎えし、遺族着席、導師の入場をおわり一同礼拝。導師のせつせつたる祭文、読経に移れば、式場はひとしお壮厳な雰囲気につつまれ、しゆくとして声なく、ただ柏鳩の会により放たれた鳩の羽ばたきが聞えるのみ……。

ついで黙禱に移れば、サイレンは余韻を残して鳴りわたり、去る十月定例市議会の第一日（十四日）議場でおこなわれた挨拶の録音再生は、会葬者の胸をつき落涙を禁じえず、すすり泣く声ここかしこに聞く。

続く外川葬儀委員長の祭文、目は涙で祭文を読めず、嗚咽に声もでず、外川葬儀委員長の胸中いかばかりか……哀悼の声は式場を包む。

一同涙のうちに遺族焼香をおわり、来賓の弔辞と焼香に移る柴田県知事、川島幹事長代理小沢参議院議員、米冨通信基地司令官、浮谷市川市長、須賀市高師郡町村長会長、松崎柏市議会議長、市役所職員代表、町会長代表古宮場多郎氏、日暮消防団長、市内小学校生徒代表柏中三年本橋次郎君（遺児良紀君の同級生）の弔辞をいたゞき、各代表の焼香、会葬者の焼香に移る。焼香者の列あとを絶たず。

続いて弔電披露。

葬儀も終りに近づき、葬儀委員長の挨拶、親戚代表鈴木稲作氏より謝辞が述べられ、約二時間にわたる市葬はここに閉じた。

これより御遺骨は葬送行進曲に送られて松ケ崎の墓地へ向ったが、見送る市民の列は延々として続き、沿道で見送る市民も数知れず。ことに消防団員が奉持した花輪に百七十余基を数え松ケ崎―呼塚間をうづめ尽した。

御遺骨は自宅墓の墓地に着き親族そのほか一同見守るうちに納骨され、薫香けむる中に永い眠りについた。

湖徳院御信悦道大居士ここにねむる。みたまよ冥すべし。

【写真説明】

①市葬式場柏第一小学校
②御遺骨お迎え
③藤井葬儀副委員長の開式のことば
④一同礼拝
⑤導師おごそかに祭文をあげる
⑥御遺族焼香
⑦せつせつたる外川葬儀委員長祭文
⑧柴田県知事弔辞
⑨川島幹事長代理小沢参議院議員弔辞
⑩日暮消防団長弔辞
⑪市役所職員代表弔辞
⑫親戚代表謝辞
⑬各代表焼香
⑭町村長会長弔辞
⑮⑯⑰⑱御遺骨奉送
⑲延々と続く花輪の列
⑳㉑㉒㉓墓地へついた御位牌と御遺骨
㉔一同に見守られて納骨
㉕煙は墓地を包み夕暮れをいろどる。
㉖故鈴木市長こゝに永眠する
㉗市葬会場全景